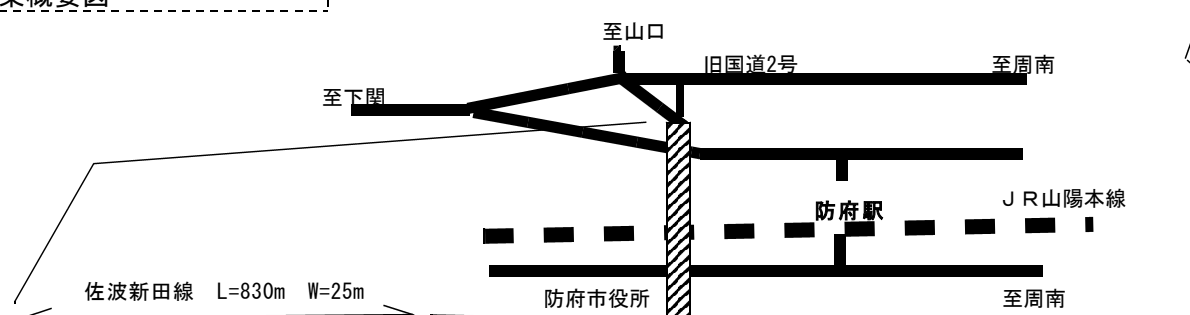


再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：中国地方整備局都市・住宅整備課
担当課長名：石崎 隆弘

事業名 佐波新田線	事業区分 街路	事業主体 山口県
起終点 自：山口県防府市佐波二丁目 至：山口県防府市寿町		延長 0.8 km
事業概要 佐波新田線は、市の中心部と山陽自動車道及び国道2号を結び、その周辺には多くの都市機能が集積しており市民生活にとって重要な道路であり、電線類地中化と一体整備することにより円滑で安全な交通を確保するとともに高質な歩行空間を提供し快適な道路景観の形成を図ることを目的としている。		
H7年度事業化	S33年度都市計画決定 (H14年度変更)	H8年度用地着手 H8年度工事着手
全体事業費	33億円	事業進捗率 77% 供用済延長 0 km
計画交通量	16,300台/日	
費用便益分析結果	B/C (事業全体) 1.5 (残事業) 10.8	総費用 (残事業)/事業全体 5/34億円 (事業費：4.4/33.6億円 維持管理費：0.4/0.4億円)
	総便益 (残事業)/事業全体 52/52億円 (走行時間短縮便益：50.7億円 走行費用減少便益：1.3億円 交通事故減少便益：0.1億円)	基準年 平成16年
感度分析の結果 残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=1.7 (交通量+10%) B/C=1.4 (交通量-10%) 事業費変動：B/C=1.5 (事業費+10%) B/C=1.6 (事業費-10%) 事業期間：B/C=1.4 (事業費+1年) B/C=1.6 (事業費-1年)		
事業の効果等 無電柱化による美しい町並みの形成（電線共同溝整備を行い良好な都市景観を形成する） 都市の再生（沿道土地利用の促進など中心市街地の活性化が図られる） 外9項目に該当		
関係する地方公共団体等の意見 佐波新田線は、円滑で安全な交通の確保とともに中心市街地にふさわしい良好な都市景観を形成することが期待されている。また、防府市より早期整備の要望を受けている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・防府駅周辺の市街地整備が進み、良好な中心市街地が形成されつつある。 ・その他重大な影響のある周辺環境の変化は無い。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成8年度から工事に着手し、電線共同溝と一体的に整備を実施している。また、用地取得も未買収地は1件のみである。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 残りの用地取得を早期完了させ、工事を引き続き進め平成19年度内の事業完了を目指す。		
施設の構造や工法の変更等 施工性、経済性を考慮し工事を施工しており、電線類地中化では浅層埋設方式を導入し、舗装工では再生材を活用する等、コスト縮減に努めている。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 以上の状況から、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図		
		

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。